



News Letter 2025

VOL.01

発行日 2025年5月 <https://www.kurume-it.ac.jp/in/>

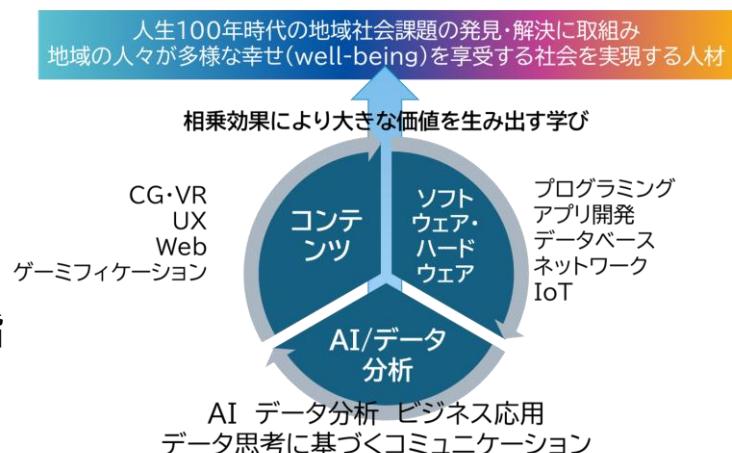
2025年3月に久留米工業大学新棟が竣工し、5月17日にグランドオープンします。交流棟「COM-RIDGE」と200号館「ベース」です。200号館には、情報ネットワーク工学科に関連のあるAI応用研究所、情報ネットワーク工学科講義・多目的活動室、電子情報システム工学専攻大学院生室が設けられ、これから最新の設備を導入していきます。これから入学する学生は、存分にこれら施設を活用して、新しい学びやたくさんの経験を積んでいただけると期待しております。ぜひ夏のオープンキャンパスに来て、新棟を体験してください。

学科長 江藤信一

新しい情報ネットワーク工学科になります

情報ネットワーク工学科は令和8年よりカリキュラムを刷新して、新しい情報ネットワーク工学科がはじまります。キーワードは「ウェルビーイング」。ウェルビーイングとは”Well(よい)”と“Being(状態)”を組み合わせた言葉で、ココロも身体も健やかな状態を指します。今や社会に無くてはならない”情報”だからこそ、情報工学でウェルビーイングを実現していくことを教育に加えていきます。

3つのコース「AI・ウェルビーイング」「ITエンジニアリングコース」「ビジュアルコンテンツコース」の特色ある学び・融合的な学びを進めていきます。



トピック：地域課題解決型AI教育プログラム（実践レベル）について

本学の「地域課題解決型AI教育プログラム」はAIで地域課題を解決できる人材育成を目的としており、プロジェクト型探求科目を中心に学びを進めています。

本プログラムは文科省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(MDASH)において、リテラシー・応用基礎の2つのレベルでプラス認定を受けました。**両レベルの+認定は全国の私立大学では本学のみです。**

昨年度は、本プログラムにて活躍し修了要件を満たした10名(うち、情報ネットワーク工学科の学生7名)が最上位にあたる「実践レベル」を修了しました。



資格取得支援 基本情報技術者試験

情報処理技術者試験は経済産業省によって、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定する国家試験です。この試験の中でも基本情報技術者試験に合格するとITに関連する基本的な知識や技能を身につけていることの証しとなり就職などに有利に働きます。情報ネットワーク工学科では、基本情報技術者試験の科目Bの内容に関する集中講義【特別ゼミII】を3年次に開講しています。また、受験料の支援金制度もあります。SE(システムエンジニア)やITエンジニアとしてのキャリアをスタートさせるためにも基本情報技術者試験を受験しましょう。

学生インタビュー

情報ネットワーク工学科 3年生 久保 智寛
佐賀県立唐津西高等学校出身

1.なぜこの学科を選びましたか？

高校の先生に紹介され、この学科を知りました。もともとCGやプロジェクトマッピングとかに興味があり、調べたところ、CGだけではなくソフトウェアやハードウェアも学べるコースがあることが分かり、幅広く学べる環境に惹かれて、この学科を選びました。

2.今どんなことを学んでいますか？

今は特に広告系のWebデザインに興味があり、関連する講義を受講しています。これからは就活も見据えて、作品作りにも挑戦していきたいと思っています。部活ではデータサイエンス部に所属し、データサイエンスやAIについて学んでいます。ちなみに、顧問の先生に頼まれて部長も務めています。

3.将来どういう分野で活躍したいですか？

将来は、WebデザインやWebのフロントエンドエンジニアの分野で活躍したいと思っています。デザインだけでなく、コーディングにも関わりながら、サイト作りに幅広く携わるらしいなと考えています。

4.来てよかったです、分かったこと

先生との距離が近く、分からないことをすぐに質問できる点がとても良いと感じています。データサイエンス部では、先輩から助言を受けながら、授業では扱わないプログラミング環境やツールの使い方を学べたのが大きな収穫でした。また、PBL科目「AI実践プロジェクト」では、4人チームで取り組んだプロジェクト「ChatGPTを使ったカウンセリングBot」を、2024年9月に開催された第32回電子情報通信学会九州支部学生会講演会にて、チーム代表として発表しました。非常に緊張しましたが、この経験を通じて実践的なスキルや発表力を高めることができ、大きな自信につながりました。